

福島県沖の水産物は、今も高濃度に汚染されているの？

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産研究・教育機構
	公開日: 2025-04-04
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014016

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



Q.

福島県沖の水産物は、今も高濃度に汚染されているの？

A.

濃度は着実に下がり続けています。

福島県沖の水産物中の放射性セシウム濃度は、事故直後に上昇して以降、上昇したことはなく、着実に下がり続けています。福島県沖の海水中の放射性セシウム濃度も、事故直後には事故前の1～2ミリベクレル／リットル(2010年)の約10万倍まで上昇しましたが、原子力発電所のごく近くを除き、1年後には約1000倍、2年後には約50倍、2016年4月の時点では約4倍まで減少しています。2015年4月以降、基準値を超過した水産物(出荷制限されているものも含む)は、1件も見つかっていません。

福島県産海産物の調査結果

